

令和2年第6回 沖縄県議会（定例会） 決算特別委員会記録（第1号）

開会の日時、場所

年月日 令和2年10月1日（木曜日）
開 会 午後6時30分
散 会 午後7時10分
場 所 第7委員会室

本委員会に付託された事件

（10月1日付託）

- 1 乙第15号議案 令和元年度沖縄県水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
- 2 乙第16号議案 令和元年度沖縄県工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
- 3 認定第1号 令和元年度沖縄県一般会計決算の認定について
- 4 認定第2号 令和元年度沖縄県農業改良資金特別会計決算の認定について
- 5 認定第3号 令和元年度沖縄県小規模企業者等設備導入資金特別会計決算の認定について
- 6 認定第4号 令和元年度沖縄県中小企業振興資金特別会計決算の認定について
- 7 認定第5号 令和元年度沖縄県下地島空港特別会計決算の認定について
- 8 認定第6号 令和元年度沖縄県母子父子寡婦福祉資金特別会計決算の認定について
- 9 認定第7号 令和元年度沖縄県下水道事業特別会計決算の認定について
- 10 認定第8号 令和元年度沖縄県所有者不明土地管理特別会計決算の認定について
- 11 認定第9号 令和元年度沖縄県沿岸漁業改善資金特別会計決算の認定について
- 12 認定第10号 令和元年度沖縄県中央卸売市場事業特別会計決算の認定について
- 13 認定第11号 令和元年度沖縄県林業・木材産業改善資金特別会計決算の認定について
- 14 認定第12号 令和元年度沖縄県中城湾港（新港地区）臨海部土地造成事業特別会計決算の認定について
- 15 認定第13号 令和元年度沖縄県宜野湾港整備事業特別会計決算の認定について
- 16 認定第14号 令和元年度沖縄県国際物流拠点産業集積地域那覇地区特別会計決算の認定に

ついて

- 17 認定第15号 令和元年度沖縄県産業振興基金特別会計決算の認定について
- 18 認定第16号 令和元年度沖縄県中城湾港（新港地区）整備事業特別会計決算の認定について
- 19 認定第17号 令和元年度沖縄県中城湾港マリン・タウン特別会計決算の認定について
- 20 認定第18号 令和元年度沖縄県駐車場事業特別会計決算の認定について
- 21 認定第19号 令和元年度沖縄県中城湾港（泡瀬地区）臨海部土地造成事業特別会計決算の認定について
- 22 認定第20号 令和元年度沖縄県公債管理特別会計決算の認定について
- 23 認定第21号 令和元年度沖縄県国民健康保険事業特別会計決算の認定について
- 24 認定第22号 令和元年度沖縄県病院事業会計決算の認定について
- 25 認定第23号 令和元年度沖縄県水道事業会計決算の認定について
- 26 認定第24号 令和元年度沖縄県工業用水道事業会計決算の認定について

委員の選任

令和2年10月1日、本委員会の委員は議長の指名で次のとおり選任された。

新垣 淑 豊君	仲 里 全 孝君
座 波 一君	花 城 大 輔君
又 吉 清 義君	末 松 文 信君
島 袋 大君	次呂久 成 崇君
照 屋 大 河君	仲宗根 悟君
瀬 長 美佐雄君	比 嘉 瑞 己君
翁 長 雄 治君	山 里 将 雄君
新 垣 光 栄君	金 城 勉君
大 城 憲 幸君	

本日の委員会に付した事件

- 1 委員長の互選
- 2 副委員長の互選
- 3 乙第15号議案 令和元年度沖縄県水道事業会

- 計未処分利益剰余金の処分について
- 4 乙第16号議案 令和元年度沖縄県工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
 - 5 認定第1号 令和元年度沖縄県一般会計決算の認定について
 - 6 認定第2号 令和元年度沖縄県農業改良資金特別会計決算の認定について
 - 7 認定第3号 令和元年度沖縄県小規模企業者等設備導入資金特別会計決算の認定について
 - 8 認定第4号 令和元年度沖縄県中小企業振興資金特別会計決算の認定について
 - 9 認定第5号 令和元年度沖縄県下地島空港特別会計決算の認定について
 - 10 認定第6号 令和元年度沖縄県母子父子寡婦福祉資金特別会計決算の認定について
 - 11 認定第7号 令和元年度沖縄県下水道事業特別会計決算の認定について
 - 12 認定第8号 令和元年度沖縄県所有者不明土地管理特別会計決算の認定について
 - 13 認定第9号 令和元年度沖縄県沿岸漁業改善資金特別会計決算の認定について
 - 14 認定第10号 令和元年度沖縄県中央卸売市場事業特別会計決算の認定について
 - 15 認定第11号 令和元年度沖縄県林業・木材産業改善資金特別会計決算の認定について
 - 16 認定第12号 令和元年度沖縄県中城湾港（新港地区）臨海部土地造成事業特別会計決算の認定について
 - 17 認定第13号 令和元年度沖縄県宜野湾港整備事業特別会計決算の認定について
 - 18 認定第14号 令和元年度沖縄県国際物流拠点産業集積地域那覇地区特別会計決算の認定について
 - 19 認定第15号 令和元年度沖縄県産業振興基金特別会計決算の認定について
 - 20 認定第16号 令和元年度沖縄県中城湾港（新港地区）整備事業特別会計決算の認定について
 - 21 認定第17号 令和元年度沖縄県中城湾港マリン・タウン特別会計決算の認定について
 - 22 認定第18号 令和元年度沖縄県駐車場事業特別会計決算の認定について
 - 23 認定第19号 令和元年度沖縄県中城湾港（泡瀬地区）臨海部土地造成事業特別会計決算の認定について
 - 24 認定第20号 令和元年度沖縄県公債管理特別

会計決算の認定について

- 25 認定第21号 令和元年度沖縄県国民健康保険事業特別会計決算の認定について
- 26 認定第22号 令和元年度沖縄県病院事業会計決算の認定について
- 27 認定第23号 令和元年度沖縄県水道事業会計決算の認定について
- 28 認定第24号 令和元年度沖縄県工業用水道事業会計決算の認定について
- 29 閉会中継続審査について
- 30 決算特別委員会運営要領について
- 31 理事の選任

委員長、副委員長の互選

令和2年10月1日、座波一君が委員長に、新垣淑豊君が副委員長に選任された。

理事の選任

令和2年10月1日、仲里全孝君、比嘉瑞己君及び山里将雄君が理事に選任された。

出席委員

委員長	座波	一君		
副委員長	新垣	淑豊君		
委員	仲里	全孝君	花城	大輔君
	又吉	清義君	末松	文信君
	島袋	大君	次呂久	成崇君
	照屋	大河君	仲宗根	悟君
	瀬長	美佐雄君	比嘉	瑞己君
	翁長	雄治君	山里	将雄君
	新垣	光栄君	金城	勉君
	大城	憲幸君		

○下地広道議会事務局政務調査課主幹 決算特別委員会設置後、初めての委員会でありますので委員長及び副委員長の互選を行う必要があります。

委員長の互選に関する職務は、委員会条例第7条第2項の規定により、年長の委員が行うことになっております。

出席委員中、末松文信委員が年長者であります。

よって、この際、末松文信委員に委員長の互選に関する職務をお願いいたします。

末松文信委員、委員長席に御着席願います。

（末松文信委員、委員長席に着席）

○末松文信委員 ただいまから、決算特別委員会を開会いたします。

委員会条例第7条第2項の規定により、年長の私が委員長互選の職務を行います。

どうぞ、よろしく願いいたします。

これより、委員長の互選を行います。

委員長の互選は、指名推選による方法と投票による方法がありますが、いずれの方法によるか御協議をお願いいたします。

休憩いたします。

(休憩中に、互選の方法を指名推薦、被推薦人を座波一君とし、指名は委員長の職務を行う委員が行う旨の協議があった。)

○末松文信委員 再開いたします。

委員長の互選については、休憩中に御協議いたしましたとおり、指名推選によることとし、私から指名したいと思いますのですが、これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○末松文信委員 御異議なしと認めます。

よって、委員長には座波一君を指名いたします。

ただいまの指名に御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○末松文信委員 御異議なしと認めます。

よって、委員長には座波一君が選任されました。

ただいま委員長が選任されましたので、委員長と交代いたします。

休憩いたします。

(休憩中に、年長委員退席、委員長着席)

○座波一委員長 再開いたします。

このたび委員各位の御推挙により、決算特別委員長に就任しました座波一でございます。

委員会の運営につきましては公正・中立を旨とし、円滑に進めてまいりたいと存じますので、各委員の御指導と御協力を賜りますようお願いいたします。

以上で、委員長の互選は終わりました。

○座波一委員長 次に、副委員長の互選を行います。

副委員長の互選は、指名推選による方法と投票による方法がありますが、いずれの方法によるか御協議をお願いいたします。

休憩いたします。

(休憩中に、互選の方法は投票により行う旨の協議があった。)

○座波一委員長 再開いたします。

副委員長の互選については、投票の方法によるこの御意見がありますので、互選は投票により行います。

投票の方法について、事務局から説明させます。

休憩いたします。

(休憩中に、投票の方法等について事務局から説明)

○座波一委員長 再開いたします。

これより副委員長の互選に係る投票を行います。委員会室を閉鎖いたします。

(委員会室閉鎖)

○座波一委員長 ただいまの出席委員数は17人です。

立会人に、議席番号1番新垣光栄委員、同6番大城憲幸委員を指名いたします。

これより投票用紙を配付いたします。

念のため申し上げます。

投票は単記無記名であります。

(投票用紙配付)

○座波一委員長 投票用紙の配付漏れはありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○座波一委員長 投票用紙の配付漏れなしと認めます。

それでは投票箱を改めます。

(投票箱点検)

○座波一委員長 投票箱は異状なしと認めます。

それでは投票用紙に御記入ください。

なお、同姓や同名の委員が複数いる場合がありますので、姓も名も必ず御記入ください。

(投票用紙に記入)

○座波一委員長 それでは職員の点呼に従い順次投票願います。

(投票)

○座波一委員長 投票漏れはありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○座波一委員長 投票漏れなしと認めます。

以上で、投票を終了いたします。

ただいまより開票を行います。

立会人の立会いをお願いいたします。

(開票)

(立会人点検)

○座波一委員長 開票の結果を御報告いたします。

投票総数 17票

有効投票数 17票

無効投票数 0票

有効投票数中

新垣 淑豊君 9票

仲宗根 悟君 8票であります。

投票の結果、副委員長には新垣淑豊君が選任されました。

ただいま、副委員長が選任されましたので、御挨拶

撈を自席でお願いいたします。

○新垣淑豊副委員長 ただいま副委員長に選出をしていただきました、新垣淑豊でございます。本当にありがとうございます。

委員長を支えながら、本委員会が円滑に運営されるよう努力をしてまいりたいと思います。委員各位の御協力をどうぞよろしくお願いいたします。

ありがとうございました。

○座波一委員長 以上で、副委員長の互選は終わりました。

○座波一委員長 休憩いたします。

(休憩中に、協議事項について事務局より説明)

○座波一委員長 再開いたします。

乙第15号議案及び乙第16号議案の議決議案2件並びに認定第1号から認定第24号までの決算24件を一括して議題といたします。

ただいま議題となりました議決議案2件及び決算24件については、閉会中に審査することとし、議長に対して、閉会中継続審査の申出をしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○座波一委員長 御異議なしと認めます。

よって、さよう決定いたしました。

○座波一委員長 次に、決算特別委員会運営要領について、御協議をお願いいたします。

休憩いたします。

(休憩中に、事務局から決算特別委員会運営要領案の概要説明後に協議を行い、案のとおり決することで意見の一致を見た。)

○座波一委員長 再開いたします。

決算特別委員会運営要領については、休憩中に御協議いたしましたとおり、決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○座波一委員長 御異議なしと認めます。

よって、さよう決定いたしました。

○座波一委員長 次に、ただいま決定されました決算特別委員会運営要領に基づき、委員長及び副委員長のほかに、理事3人の選任が必要でありますので、理事3人の選任について御協議をお願いいたします。

休憩いたします。

(休憩中に、理事の選任について協議)

○座波一委員長 再開いたします。

これより、理事3人の選任について、お諮りいたします。

理事に比嘉瑞己委員、山里将雄委員及び仲里全孝委員の3人を指名したいと思いますが、これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○座波一委員長 御異議なしと認めます。

よって、さよう決定いたしました。

理事の皆さんには、委員会の円滑な運営に御協力いただきますようお願いいたします。

次に、お諮りいたします。

ただいま決定されました決算特別委員会運営要領に基づく、各常任委員会への閉会中調査の依頼につきましては、委員長に御一任願いたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○座波一委員長 御異議なしと認めます。

よって、さよう決定いたしました。

以上で、予定の議題は全て終了いたしました。

委員の皆さん、大変御苦労さまでした。

次回は、10月14日 水曜日 午前10時から委員会を開きます。

本日の委員会は、これをもって散会いたします。

決算特別委員会運営要領

この要領は、「決算議案の審査等に関する基本的事項(常任委員会に対する調査依頼について)」(平成28年10月12日議会運営委員会決定)に定めるもののほか、決算特別委員会(以下「委員会」という。)の運営に関し、必要な事項を定めることにより、委員会の円滑な運営に資するものとする。

1 委員席の配置

別紙1のとおりとする。

2 審査日程

審査日程は別紙2のとおりとする。ただし、審査の都合により必要があるときは、委員会に諮り変更することができる。

3 各常任委員会に対する調査依頼

- (1) 決算特別委員長(以下「委員長」という。)は、別添様式1により各常任委員長に閉会中調査を依頼するものとする。
- (2) 各常任委員長は、上記の閉会中調査終了後に別添様式2により決算調査報告書(以下「調査報告書」という。)を委員長に提出するものとする。
なお、調査報告書に記載する特記事項は、議案に対する附帯決議のような事項等とするものとする。
- (3) 「決算議案の審査等に関する基本的事項(常任委員会に対する調査依頼について)」に係る決算特別委員への調査報告書の配付については、タブレットに格納するものとする。

4 説明員

決算の概要説明は、会計管理者、病院事業局長及び企業局長が行い、決算審査意見の概要説明は代表監査委員が行うものとする。

5 決算及び決算審査意見の概要説明に対する質疑

- (1) 質疑の時間は、委員1人10分とする。
- (2) 各委員の質疑の時間は、出席委員間で相互に譲渡することができるものとする。その場合、譲渡する委員はあらかじめ委員長に譲渡する時間及び譲渡をされる委員について報告するものとする。また、譲渡をする委員は譲渡をされた委員が質疑をする間は着席しなければならない。
- (3) 質疑の時間には、答弁時間は含まないものとする。
- (4) 質疑時間の終了5分前に1回、1分前に2回及び終了時に5回それぞれ電子音等で報知する。
- (5) 質疑は一問一答方式で、自席に着席したままで行うものとする。
- (6) 質疑の順序は多数会派順とする。

6 調査報告書に対する質疑

- (1) 常任委員長に対する質疑の通告は、別添様式3により政務調査課に提出するものとする。
- (2) 委員長は、調査報告書に対し質疑の通告がなされた場合には、別添様式4により当該常任委員長の出席を求めるものとする。
- (3) 常任委員長への質疑は、当該常任委員長に対し2回を超えないものとする。

る。

7 要調査事項に対する質疑

- (1) 要調査事項に対する質疑（以下「総括質疑」という。）を行うため知事等へ出席を求めることが決定された場合、知事等への総括質疑の通告締切日時は、決算特別委員会において総括質疑を行う日の前日（県の休日を除く。）の午後3時とし、別添様式3により政務調査課に提出するものとする。
- (2) 各委員の質疑の時間は、委員長が委員会に諮って定めるものとする。

8 理事会

- (1) 理事会は、委員長、副委員長及び理事3人をもって構成する。
- (2) 理事は、委員長が委員会に諮って指名する。
- (3) 理事は、委員会の円滑な運営について委員長及び副委員長に協力し、委員間の連絡調整に当たる。
- (4) 理事会は、委員会の決定に基づき要調査事項及び特記事項の取り扱い並びに総括質疑の実施の必要性等について協議を行うものとする。

雑 則

以上のほか、委員会の運営について必要な事項は、その都度委員長が委員会に諮って定める。

委員席の配置

--	--	--	--	--

--	--	--	--	--

--	--	--	--	--

議 会 事 務 局				
-----------	--	--	--	--

(録音・計時) 議 会 事 務 局				補 助 答 弁 席
----------------------	--	--	--	--------------

議 会 事 務 局
座 波 一 委 員 長

	説 明 員 席	
--	---------	--

	照屋大河委員	次呂久成崇委員
--	--------	---------

花城大輔委員	仲里全孝委員	新垣淑豊委員
--------	--------	--------

比嘉瑞己委員	瀬長美佐雄委員	仲宗根悟委員
--------	---------	--------

島袋大委員	末松文信委員	又吉清義委員
-------	--------	--------

新垣光栄委員	山里将雄委員	翁長雄治委員
--------	--------	--------

	大城憲幸委員	金城勉委員
--	--------	-------

--	--	--

--	--	--

--	--	--

--	--	--

決算特別委員会審査日程

年 月 日	曜 日	時 間	事 項	関係室部局等
令和2年 10月1日	木	本会議 及び各 委員会 終了後	決算特別委員会 ○委員長及び副委員長の互選 ○閉会中継続審査の件 ○委員会運営要領の件 ○理事の選任 ○各常任委員会に対する調査依頼の件	
10月14日	水	午前10時	決算特別委員会 ○概要説明 ・令和元年度一般会計及び特別会計決算 ・令和元年度企業会計決算 ・令和元年度沖縄県水道事業会計未処分利益剰余金の処分について ・令和元年度沖縄県工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分について ・一般会計、特別会計及び企業会計に対する審査意見 ○会計管理者及び代表監査委員に対する質疑	会計管理者 病院事業局長 企業局長 代表監査委員
10月15日	木	午前10時	各常任委員会 ○所管事務に係る決算事項の調査	関係室部局
10月16日	金	午前10時	各常任委員会 ○所管事務に係る決算事項の調査 ○決算調査報告書記載内容等についての協議	関係室部局
10月19日	月		決算調査報告書整理日	
10月20日	火		決算調査報告書整理日	
10月21日	水		決算特別委員への決算調査報告書の配付 (午前9時) 各常任委員長に対する質疑の通告締め切り (午後3時)	
10月22日	木	午前10時	決算特別委員会 ○各常任委員長に対する質疑 ○「要調査事項」及び「特記事項」の取り扱い等についての協議 ○総括質疑の取り扱いについての協議	
10月23日	金	午前10時	決算特別委員会 ○総括質疑 ○採決 ・令和元年度沖縄県水道事業会計未処分利益剰余金の処分について ・令和元年度沖縄県工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分について ・令和元年度一般会計及び特別会計決算 ・令和元年度企業会計決算	

様式 1

令和 年 月 日

各常任委員長
○ ○ ○ ○ 殿

決算特別委員長
○ ○ ○ ○

決算議案の調査依頼について

本委員会に付託された決算議案のうち、下記について貴委員会において閉会中調査を行っていただくようお願いいたします。

なお、調査結果につきましては、月 日までに所定の様式により御報告くださいますようお願い申し上げます。

記

(例)

認定第○号 令和○年度沖縄県一般会計決算の認定について
(○○○○委員会所管分)

認定第○号 令和○年度沖縄県○○○○○○特別会計決算の認定について

認定第○号 令和○年度沖縄県○○○○○○事業会計決算の認定について

様式 3

令和 年 月 日 午前・午後 時 分 受付

質 疑 発 言 通 告

種別	常任委員長 ・ 知事等
質 疑 の 要 旨	

上記により質疑したいので、決算特別委員会運営要領の規定により
通告します。

令和 年 月 日
決算特別委員 印

決算特別委員長 殿

※ 記載例は、議会運営委員会決定事項集「17 発言通告書の記載方法等について」の記載例をごらんください。

様式 2

令和 年 月 日

決算特別委員長
○ ○ ○ ○ 殿

各常任委員長
○ ○ ○ ○

決 算 調 査 報 告 書

月 日に依頼のあった決算議案の調査について、委員会における調査の結果を下記のとおり報告します。

記

- 1 委員会における質疑・答弁の内容
- 2 要調査事項
- 3 特記事項

様式 4

令和 年 月 日

各常任委員長
○ ○ ○ ○ 殿

決算特別委員長
○ ○ ○ ○

決算特別委員会への出席について

貴職から報告のあった決算調査報告書に関し、質疑の通告があったので、下記のとおり出席を求めます。

記

- 1 日 時 令和 年 月 日 (曜日) 午前・午後 時
- 2 場 所 第 7 委員会室

決算議案の審査等に関する基本的事項 (常任委員会に対する調査依頼について)

決算議案の審査については、その効率的で充実した審査に資することを目的とし、各常任委員会において決算特別委員会から調査依頼を受け、専門的な立場から所管事務に係る決算事項を調査する方式としたところである。こうした決算議案の審査・調査に当たっては、下記の基本的事項を定めることにより、決算特別委員会及び各常任委員会の円滑な運営に資するものとする。

記

- 1 決算特別委員会の開催場所について
決算特別委員会は第7委員会室で行うものとする。
- 2 審査日程について
決算議案の審査日程はおおむね別紙1のとおりとし、具体的な決算特別委員会の審査日程は同委員会において決定するものとする。
- 3 調査依頼事項について
 - (1) 各常任委員会に対する調査依頼事項は、沖縄県議会委員会条例第2条に規定する所管事務に係る決算事項とする。
 - (2) 調査依頼に関する様式は別に定めるものとする。
- 4 各常任委員会における調査について
 - (1) 質疑の時間は、各審査日委員1人10分とする。
 - (2) 各委員の質疑の時間は、出席委員間で相互に譲渡することができるものとする。その場合、譲渡する委員はあらかじめ委員長に譲渡する日、時間及び譲渡をされる委員について報告するものとする。また、譲渡する委員は譲渡をされた委員が質疑する間は着席しなければならない。
 - (3) 質疑の時間には、答弁時間は含まないものとする。
 - (4) 質疑時間終了5分前に1回、1分前に2回及び終了時に5回それぞれ電子音等で報知する。
 - (5) 質疑の順序については多数会派順とする。なお、2日目は第2多数会派から質疑を行い、第1多数会派は最後に行うものとする。
 - (6) 監査委員である議員は調査には加わらないものとする。
 - (7) 各常任委員会での採決は行わないものとする。
- 5 決算調査報告書の作成及び配付について
 - (1) 決算調査報告書(以下「調査報告書」という。)は、各常任委員会での協議に基づき各常任委員長が作成するものとする。この場合、各常任委員会での協議を省略して調査報告書の作成を各常任委員長に一任することができるものとする。
 - (2) 調査報告書に記載する事項は、各常任委員会における質疑・答弁の主な内容、決算特別委員会においてさらに調査が必要とされる事項(以下「要調査事項」という。)及び特記事項とする。

(3) 要調査事項について

ア 各常任委員会における質疑において、要調査事項を提起しようとする委員は、その該当事項を要調査事項とする旨を発言するものとする。

イ 各常任委員会における質疑終了後、要調査事項を提起しようとする委員が要調査事項とする理由等を説明した後、決算特別委員会における調査の必要性についての意見交換や要調査事項の整理を行った上で、要調査事項を決算特別委員会に報告するものとする。

ウ 各常任委員会における上記イの意見交換や整理の中において、要調査事項として報告することについて反対の意見が述べられた場合には、決算特別委員会に報告する際にその意見もあわせて報告するものとする。

(4) 調査報告書は、決算特別委員会において調査報告書を審査する日の前日（県の休日を除く。）の正午までに決算特別委員に配付するものとする。

(5) 調査報告書の様式は別に定めるものとする。

6 調査報告書に対する質疑について

(1) 調査報告書に関し、常任委員長に対する質疑の通告がなされた場合には、当該常任委員長の出席を求めるものとする。

(2) 常任委員長に対する質疑通告の締切日時は、決算特別委員会において調査報告書を審査する日の前日（県の休日を除く。）の午後3時とする。

7 要調査事項に対する質疑について

(1) 審査の最終日に要調査事項に対する質疑（以下「総括質疑」という。）を行うため知事等の出席を求める場合には、決算特別委員会において質疑を行う要調査事項及び知事等の出席を求めることについて決定するものとする。

(2) 知事等への総括質疑は、上記（1）において決定した要調査事項についてまず決算特別委員長が代表して行い、答弁を聴取した後、各委員からの質疑を行うものとする。

8 質疑の時間及び方法等について

決算特別委員会における質疑の時間及び方法その他必要な事項は当該委員会において決定するものとする。

9 理事会について

決算特別委員会の円滑な運営等を図るための調整、協議等を行うため同委員会に理事会を設置するものとする。

(別紙1)

決算議案の審査日程

年月日	委員会	時間	事項	関係室部局等
9月定例会 会期中 (1日目)	決算特別 委員会	本会議及 び各委員 会終了後	○委員長及び副委員長の互選 ○閉会中継続審査の件 ○委員会運営要領の件 ○理事の選任 ○各常任委員会に対する調査依頼の件	
以降 閉会中 (2日目)	決算特別 委員会	10時	○令和○年度一般会計及び特別会計決算 の概要説明 ○令和○年度企業会計決算の概要説明 ○決算審査意見概要説明 ○会計管理者及び代表監査委員に対する 質疑	会計管理者 病院事業局長 企業局長 代表監査委員
(3日目)	各常任 委員会	10時	○所管事務に係る決算事項の調査	関係室部局
(4日目)	各常任 委員会	10時	○所管事務に係る決算事項の調査 ○決算調査報告書記載内容等についての 協議	関係室部局
(5日目)			○決算調査報告書整理日	
(6日目)			○決算調査報告書整理日	
(7日目)			○決算特別委員への決算調査報告書の配付 ○常任委員長に対する質疑の通告締め切り	報告書配付 時刻:午前9時 質疑通告締め切 り時刻:午後3時
(8日目)	決算特別 委員会	10時	○常任委員長に対する質疑 ○「要調査事項」及び「特記事項」の 取り扱い等についての協議 ○総括質疑の取り扱いについての協議	
(9日目)	決算特別 委員会	10時	○総括質疑 ○採決	関係室部局等

沖縄県議会委員会条例第27条第1項の規定によりここに署名する。

年長委員 末松文信

委員長 座波 一